

## 宿泊行事の事前・事後指導で活用する

(小学校第5学年)

### 【活用した資料】

- 小学校版「心たくましく」 p.17 第一章 「朋友を語らんか…」『資治通鑑』
- 小学校版「心たくましく」 p.110～p.111 第三章 「◎ 一生の宝物になる友情を育てよう」

### 【学習指導要領に示されている道德の内容】

- 2-(3)「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。」

### ○ 宿泊行事の事前学習として

宿泊行事の事前学習で、「心たくましく」第一章 p.17「朋友を語らんか…」のことばを活用しました。

宿泊行事は、友達との共同生活を通して友情や協力、助け合いなどについて学ぶよい機会です。事前学習では、宿泊行事を通して互いに真の友情を育ててほしいことを児童に伝え、先人のことば「朋友を語らんか、応に切磋有るべし。」を紹介しました。

「互いに磨き合い高め合う存在が、真の友である。」ということばから、児童は、「仲がよいというのは、甘えあうこととは違う。」「本当の友達ならば、言いにくいことであってもきちんと言ってあげないといけない。」「互いのよいところを認め合い、そのよいところを学び合っていけるといい。」など、真の友情の在り方について考えることができました。

その後の班の目標や係活動の分担を決める話し合いでは、「みんなが協力してお互いに学び合い、できなかったことをできるようにしていこう。」「だめなことはだめだときちんと言える班にしよう。」など、互いに高め合い協力していこうとする姿勢が見られました。

### ○ 事後学習では、体験を通して考えたことや感じたことをまとめるために…。

宿泊行事を通して考えたことや感じたことをまとめる場面で、「心たくましく」第三章 p.110～p.111「一生の宝物になる友情を育てよう」を活用しました。

宿泊行事の中で、友情を感じた場面や友達から学んだことを振り返らせて、「心たくましく」p.110～p.111に書き込ませました。

宿泊行事について書かせた作文からも、友達のよいところに気付けていたり、友達を見習って行動していこうとしていたりする児童の様子が伝わってきました。

班ごとに飯ごうすいさんをしていたときのことで、ぼくたちはかまどに集まって、材料を煮込んでいるなべを見ていました。ふと見ると、同じ班の〇〇さんは、一人で洗い場において、使い終わったまな板やほうちょうを洗ったり、野菜の皮などの片付けたりしていました。ぼくは、急いで〇〇さんのところに行って、〇〇さんを手伝いました。

先にできることをしておいたので、ぼくたちの班は他の班よりも早くすべて片付けを終わらせることができました。

先のことを見通して行動している〇〇さんを見習いたいと思いました。

児童の作文より